

朗読と歌

Deklamation und Lied

アンサンブル

ウィーン三人組の共演

メゾソプラノ 高橋幸恵

朗読 阿部武仁

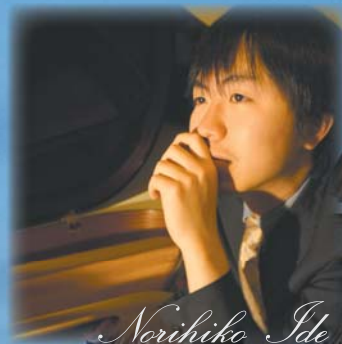
ピアノ 井出徳彦



Sachie Takahashi



Takehito Abe



Norihiko Ide

プログラム

シューベルト：マイア－ホーファーの詩より
シューマン：リーダークライス Op.39 より

東京公演

2013/ **4/7** ①

17:00 開演 (16:30 開場)

狛江 エプタザール

静岡公演

2013/ **4/28** ①

17:00 開演 (16:30 開場)

富士市文化会館

ロゼシアター 小ホール

チケット (全席自由) 一般 2,000 円 / 学生 1,000 円

チケット予約、グループ割引など、各種お問い合わせ
Lust ルスト 090-3968-0319 ensemble_lust@yahoo.co.jp

高橋幸恵 (メゾソプラノ) Sachie Takahashi



大阪府出身、神奈川県藤沢在住のメゾソプラノ。国立音楽大学声楽専修、歌曲ソリストコースを経て、同大学修士課程ドイツ歌曲コースを修了。大学院時代には「サイトウキネン若い人のための室内楽勉強会」にて白井光子氏のマスタークラスを受講し、ドイツリートの世界に深く魅せられる。第19回友愛ドイツ歌曲コンクール入選、聴衆者賞を受賞。また、「くにたち iBach コレギウム」のメンバーとして古楽器とのアンサンブルの研鑽を積む。2011年より一年間ウィーン国立音楽大学リート・オラトリオ科へ交換留学生として学ぶ。留学中にはシューベルトの足跡を訪ね、今回とりあげる詩人マイアー・ホーファーの故郷であるシュタイアで開催された第1回シューベルト歌曲コンクールにて第2位を受賞。大学卒業演奏会、神奈川県同調会新人演奏会、藤沢新人演奏会、博士研究コンサート、須坂バッハの会・楽しいクラシックの会主催《ポップアの戴冠》(アモール役)などに出演。鎌倉の蔵 tsuu にて作曲家の姉とデュオコンサートを、ウィーンにてサロンコンサートなどを行う。これまでに、櫻井悦代、長島剛子、加納悦子、R. ケブラー、D. ルッツの各氏に師事。現在、国立音楽大学博士後期課程に在籍し、シューベルトの歌曲作品について研究中。

阿部武仁 (朗読) Takehito Abe

幼少の頃よりピアノを習い始め、その後、合唱に興味を持ち、ひばり児童合唱団に入団。以降、CM録音・テレビ出演・コンサート出演など、幅広い音楽活動への下地を作る。その後、トランペットと出会い、国立音楽大学トランペット専攻に入学。同大卒業後、ウィーンへ留学。留学中には教会でのミサ演奏やコースオーケストラの一員としてドイツへ演奏旅行、ウィーン交響楽団のリーハーサルをたった一人で聴くなど、数えきれないほどの貴重な体験をし、昨年8月に完全帰国した。帰国後は縁ブラスアンサンブルのメンバーとして兵庫・東京・北海道・岡山にて演奏会を行い好評を博す。また、関東在住の若手演奏者で構成される首都圏フリーランスによるオーケストラ「アカデミー・オブ・シンフォニック・プロ」にて主席トランペットを務める。これまでにトランペットを山本英介、栃本弘規、Christian Löw、Josef Wagner、Rudolf Ringer 各氏に師事。



井出徳彦 (ピアノ) Norihiko Ide



静岡県富士市出身の伴奏者。静岡県学生音楽コンクール高校生部門入賞、日審国際ピアノコンクールピアノ部門第2位、ピアニストを目指し、桐朋学園芸術短期大学に入学、木内泰子氏の指導を受ける。在学中に、マレーシア芸術大学にてピアノ独奏を、中国西安音楽大学にてラルフ・デーリング、ハタ・ヤヨイ・デーリング、両氏との歌のコンサートで伴奏者として出演。同短大を卒業後、渡欧。西安でのコンサートを機に伴奏の面白さを知り、歌曲伴奏者として知られるデイビット・ルッツ氏の門下に入る。その後、ウィーン国立音楽大学歌曲伴奏科に入学、楽譜の分析を基にしたピアノ演奏をアレクサンドラ・リュスラー氏に、伴奏をルッツ氏に師事した。ウィーン、日本では埼玉、広島、長野などで、デュエット、あるいはソロの歌の伴奏者を務める。いつの日か憧れのピアニスト、ハンス・カン氏のようなピアノを弾きたいと思い、日々研鑽を積んでいる。

作曲家と詩人 なぜ朗読なのか？

ドイツリートの演奏会に朗読を入れてみよう、ドイツリートの伴奏をしている私はある時そう思いました。これには理由があります。そもそもドイツリートと呼ばれる分野を開拓した作曲家たちは、なぜドイツリートを作ったのでしょうか？それは、歌にはなくてはならない歌詞、その基となる詩に共感を得たからだ。そう、私は考えます。今私たちが普通に使っているものはほとんど存在していないこの時代。仲間内での詩の朗読会は当時の娯楽であったようです。風景、愛する人、失恋、憧れ、さすらい、死、そういった物を、1つの形式に凝縮させた詩という芸術に深い共感を得た作曲家たちは、詩人への深い敬意を持ち、創作意欲を駆り立てられたのではないのでしょうか。言葉の芸術を表現する詩人の存在、彼らがいなければ、ドイツリートは間違いなく無かったと言えるでしょう。さて、なぜ朗読なのか？皆さんに、詩の朗読というものを通じて、作曲家が抱いたであろう気持ちを少しでも味わってもらいたいのです。そしてまた、詩という素材から作曲家が何を創作したのかを見ていただけたら。朗読と歌。ご来場お待ちしております。

井出徳彦

ロゼシアター



●駐車場は公演日には大変混雑いたします。

エプタザール



チケット予約
各種お問い合わせ先

Lust ルスト

Tel
090-3968-0319

e-mail
ensemble_lust@yahoo.co.jp

開演時間に間に合わないことや、満車で駐車できないことがありますので、小田急線「狛江駅」北口下車徒歩約8分
ご来館の際はバス・タクシー等のご利用をお勧めいたします。